

古河市雨水管理総合計画の策定について

1. 概要

地球温暖化による気候変動の影響により局所的集中豪雨の発生頻度が増加するとともに、都市化の進展に伴う雨水流出量の増加などにより、浸水被害の危険性が高まっています。古河市においても「平成27年9月関東・東北豪雨」等の影響により、床上浸水や床下浸水、道路冠水等の被害が発生しています。

こうした状況を踏まえ、下水道による浸水対策として「古河市内水対策基本方針」に基づき、下水道計画区域内において対策優先度の高い地域から段階的に整備を実施するため「古河市雨水管理総合計画」を策定しました。

2. 計画期間

古河市雨水管理総合計画：令和6年度から令和25年度の20年間

3. 配布資料

資料1：古河市雨水管理総合計画【概要版】

資料2：古河市内水対策基本方針【概要版】

古河市内水対策基本方針【本編】

古河市雨水管理総合計画

1 背景・目的

地球温暖化による気候変動の影響により局所的集中豪雨の発生頻度が増加するとともに、都市化の進展に伴う雨水流出量の増加などにより、浸水被害の危険性が高まっています。古河市においても「平成 27 年9月関東・東北豪雨」等の影響により、床上浸水や床下浸水、道路冠水等の被害が発生しています。

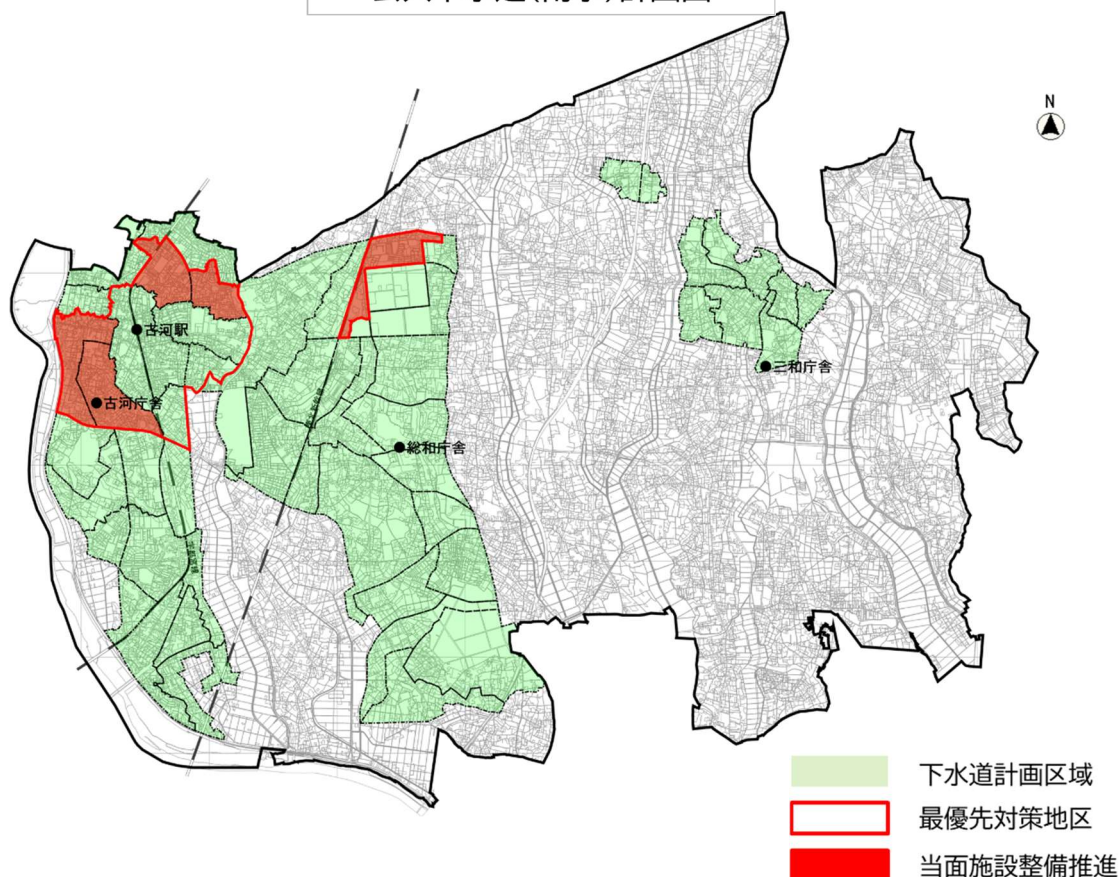
下水道による浸水対策として下水道計画区域内において優先的に実施する区域、及び下水道施設を段階的に整備する「古河市雨水管理総合計画」を策定しました。

2 計画概要

下水道計画区域内において 5 年に1回程度の1時間降雨量約63mmを想定した施設計画としました。下水道施設整備には長い年月と多額の費用が必要なことから、整備効果が早期に発現するよう効率的に進める必要があります。「古河市雨水管理総合計画」では、「選択と集中」の観点に基づき、浸水被害報告や計画降雨に対する家屋浸水リスク等から、優先的に整備を行う最優先対策地区として 10 地区選定し、令和6年度より事業の実施を予定しています。

当面は、既存施設を活用した対策や、1時間降雨量約63mmにおいて水深45cm以上が想定される区域の施設整備を推進していきます。

公共下水道(雨水)計画図



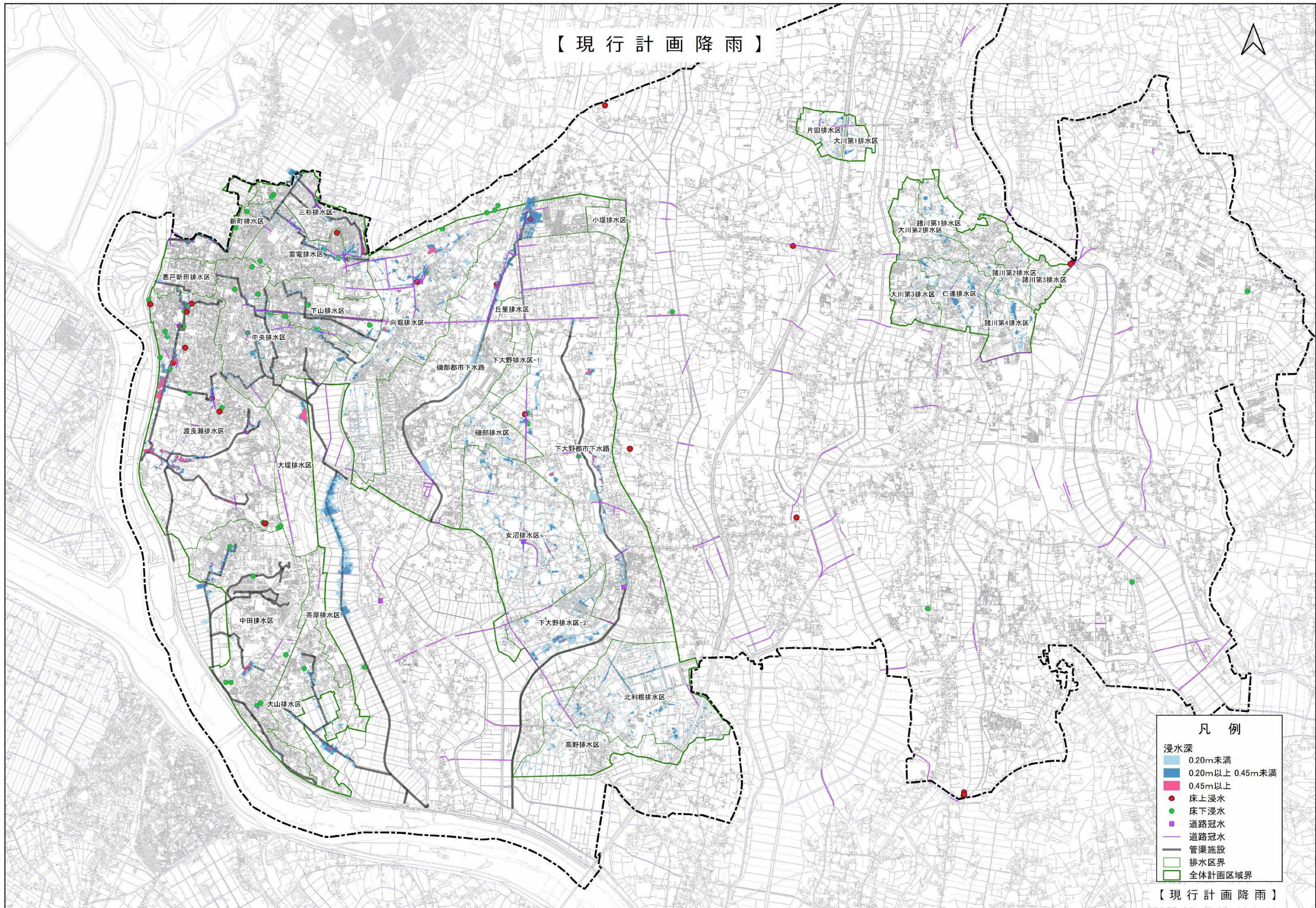
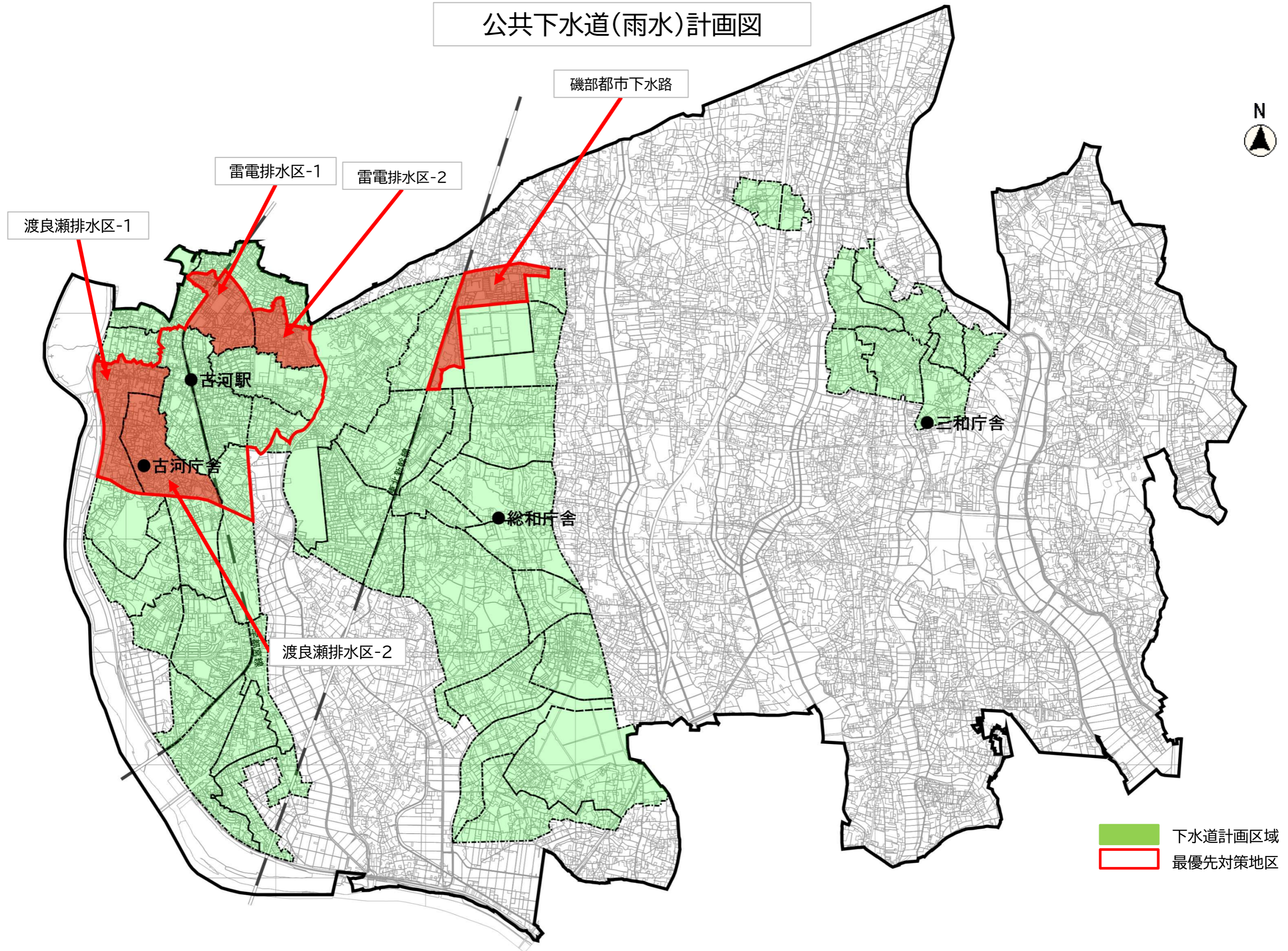


図 5.17 計画降雨 (L1) による現況施設シミュレーション結果

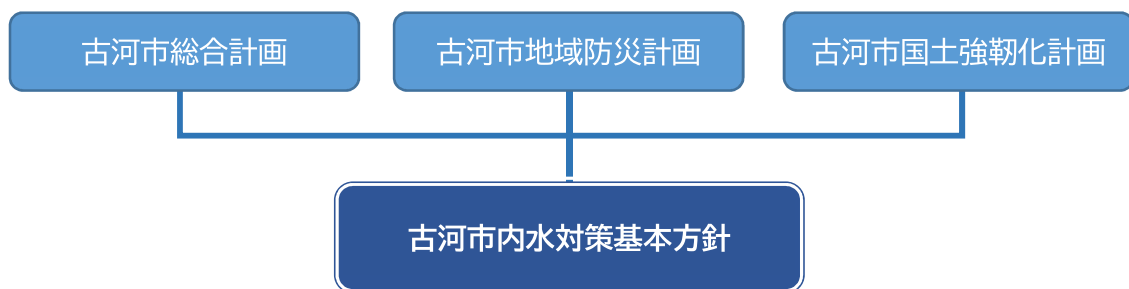
公共下水道(雨水)計画図



古河市内水対策基本方針

地球温暖化による気候変動の影響により局所的集中豪雨の発生頻度が増加するとともに、都市化の進展に伴う雨水流出量の増加などにより、浸水被害の危険性が高まっています。古河市においても「平成 27 年9月関東・東北豪雨」等の影響により、床上浸水や床下浸水、道路冠水等の被害が発生しています。

こうした現状を踏まえ、古河市では、安全で快適なまちづくりを実現するため、「自助、共助、公助」により協働で内水による被害に対応するため、市全域の取組の方向性を示す「古河市内水対策基本方針」を策定しました。



各課事業において内水被害の軽減を図る

- ・下水道による浸水対策(下水道部門)
- ・農地・農業の防災対策(農地部門)
- ・開発行為等の指導(建築部門)
- ・土木施設強化の推進(道路部門)
- ・防災意識の啓発による対策(防災部門)
- 等

